

8月更新版

アクションプログラム2026

和歌山県農水産物・加工食品の 販売促進戦略



和歌山県農林水産部 食品流通課

和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略

◆ アクションプログラム2026 取組方針

1. 生産者及び事業者の商品力や販売力の向上支援
2. 和歌山県が誇る産品を軸とした国内市場への販売促進強化
3. 優位性のある県産品を中心とした海外市場への販路開拓強化

アクションプログラム2026 目次

I. 生産者及び事業者への支援

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 1. 商品力や販売力の向上 | P | 1 |
| 2. デジタル社会に対応した生産者及び事業者支援 | P | 3 |
| 3. 食品関係産業の振興 | P | 4 |

II. 国内市場の販売促進強化

- | | | |
|------------------------|---|----|
| 1. わかやま紀州館を活用した販路開拓 | P | 5 |
| 2. 「おいしく食べて和歌山モール」の活用 | P | 7 |
| 3. 有名百貨店・通販カタログ等での販売促進 | P | 8 |
| 4. 県産品ブランディングセールス | P | 9 |
| 5. 県主催産品商談会の開催 | P | 11 |
| 6. 大型展示商談会への出展 | P | 12 |
| 7. 食品卸や商社等主催商談会への出展 | P | 13 |
| 8. 関西広域連合との連携プロモーション | P | 14 |
| 9. 外食産業タイアッププロモーション | P | 15 |
| 10. 大手企業とのタイアップによる商品開発 | P | 16 |
| 11. 県産酒類の魅力発信 | P | 17 |
| 12. 「おいしい！健康わかやま」の推進 | P | 18 |

III. 海外市場の販路開拓強化

- | | | |
|---------------------|---|----|
| 1. 海外における和歌山プロモーション | P | 19 |
| 2. 輸出拡大に向けた環境整備 | P | 21 |
| 3. 海外販路開拓に向けた商談支援 | P | 23 |
| 4. 輸出拡大に向けた魅力の発信 | P | 25 |

- ※ 主要事業実績及び計画一覧 P 26

国内市場の販売促進強化

戦略的 マーケ ティング

- 「わかやま紀州館」を通じた販路開拓や情報発信の強化
 - ・テストマーケティング販売
 - ・公式HPやSNSを活用した情報発信
- おいしく食べて和歌山モールの活用
- 有名百貨店等での販売促進
- 県産品ブランディングセールス
 - ・有名シェフ招へいや料理専門誌タイアップ
 - ・老舗果物専門店等とのコラボ
 - ・県産食材の機能性、テロワール

多様な 商談機会 の提供

- 県主催産品商談会の開催
 - ・県産品マッチング商談会
 - ・わかやま産品商談会in大阪・和歌山
- 大型展示商談会への出展
 - ・スーパーマーケット・トレードショー
 - ・FOODEX JAPAN
- 食品卸や商社等主催の商談会出展
 - ・加藤産業展示商談会
 - ・国分西日本展示商談会等
- 関西広域連合との連携プロモーション

魅力の 発信

- 外食産業とのタイアップ
- 大手企業とのタイアップ
- 県産酒類の魅力発信
- おいしい！健康わかやまの推進
 - ・SNS等を活用した県産品の魅力発信

海外市場の販路開拓強化

- 海外における和歌山プロモーション
 - ・和歌山梅酒プロモーション推進
 - ・小売店・百貨店での果実フェアの開催
 - ・和歌山フェアの開催
- 輸出拡大に向けた環境整備
 - ・農産物生産体制の強化支援
 - ・輸出向けHACCP等対応施設整備支援
 - ・選果・こん包施設の認定及び認定書の発行
 - ・食品輸出セミナーの開催

- 海外販路開拓に向けた商談支援
 - ・海外展示会への出展
 - FHA（シンガポール）
 - NRA（米国・シカゴ）
 - FOOD TAIPEI（台湾・台北）
 - Hong Kong Food Expo PRO（香港）
 - FHC（中国・上海）
 - ・商社等とのマッチングによる販路開拓
 - ・MOUを活用した商談機会の創出
 - ・デジタルを活用した海外支援

- 輸出拡大に向けた魅力の発信
 - ・梅酒プロモーションを通じた情報発信
 - ・和歌山県フェアを通じた情報発信
 - ・現地メディア・SNSを通じた情報発信

生産者及び事業者への支援

市場が 求める 商品 づくり

- 商品力や販売力の向上
 - ・食品加工・開発の専門技術者育成
 - ・販売スキル向上セミナーの開催
 - ・売れる商品デザインや販路開拓等に向けたアドバイザー派遣

- デジタル社会に対応した生産者及び事業者支援
 - ・「おいしく食べて和歌山モール」（消費者向け）
 - ・「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」（バイヤー向け）
 - ・生産者のデジタルマーケティングへの支援

1.商品力や販売力の向上

生産者の高齢化や担い手不足により、今後の高品質な農産物の安定出荷が危惧される中、未利用果実の活用をはじめとした取組について、多様な事業者との連携を通じて加工機能の強化を進め、農業所得の向上を図ります。

(主な取組)

○生産者（産地）と食品関係事業者等とのマッチング **= NEW =**

未利用資源の活用に関心のある県内外の事業者に対し、摘果果実等、生産現場で発生する加工用原料を使用した商品開発を重点的に促進し、新たな所得を確保できる仕組みを構築



搾汁残さ（みかん）



摘果果実（かき）



過熟果実（いちじく）

○食品加工・開発技術者育成セミナーの開催（募集終了） 実施予定：7月～3月

食品関係事業者を対象に、県産果実等を活用した加工品の開発や製造に必要な知識や技術の習得に向けたセミナーを開催することにより、加工食品のラインナップを充実させるとともに、セミナー講師等の有識者の協力を得ながら、未利用資源活用の可能性を見出す



専門家による講義



食品工場の見学

'25実績

○食品加工・開発技術者育成セミナー：14事業者参加

- ・食品加工関係の専門家による体系的な講義（54時間（2時間×27コマ））
- ・工場見学会（2か所）
- ・受講生が試作した加工品の発表、評価

(主な取組)

○売れる商品の開発及び改良等に向けたアドバイザー派遣

- ・アドバイザー（新商品開発、流通・販売促進、デザイン等の専門家）の派遣
- ・わかやま産業振興財団が実施する専門家派遣事業の活用
- ・中小企業庁が設置する和歌山県よろず支援拠点「無料経営相談所」の活用
- ・工業技術センター「フードプロセッシングラボ」を活用した新商品づくりを支援



アドバイザー派遣

フードプロセッシングラボ

○有名バイヤーによる販売促進セミナーの開催

こだわり商品の販売促進を展開するバイヤー等を講師に招き、商談の進め方や体験談を交えた意見交換など幅広い内容のセミナーを開催（募集：9月頃、実施：11月頃予定）



販売促進セミナー

○わかやま紀州館における首都圏販路開拓に向けたテストマーケティング等の実施

テスト販売（3か月）を通じた消費者意見などのフィードバックや、店頭販売スペースを活用した生産者や事業者自らによる対面販売機会の提供、県産品販路開拓コーディネーターを活用した販売促進支援などの取組を実施（通年実施）



わかやま紀州館

'25実績

- 販路拡大に向けた個別指導：アドバイザー派遣 9事業者
- 販売促進セミナー：17事業者18名参加
- わかやま紀州館
 - テスト販売（延べ件数）：55事業者（112商品）
 - 店頭販売（延べ件数）：29事業者（93日）

2. デジタル社会に対応した生産者及び事業者支援

デジタル社会に対応した販売力の向上と魅力ある商品づくりを目指し、販売スキル向上に向けたセミナーを開催します。また、各社のECでの販売商品を掲載する食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」への登録を推進します。

(主な取組)

○デジタルマーケティングに係る課題解決型ワークショップ

農林水産業者等を対象に、eコマースを運営する上で抱えている課題を、専門家による個別相談対応やワークショップを通じて解決に導く伴走型支援を実施



○食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」

- ・産地の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトにて消費者へ県産品を紹介、県内事業者のeコマースによる販促を支援
- ・県産品等を製造販売する事業者とバイヤーを結ぶオンライン商談システム「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」によるBtoB取引を支援



「おいしく食べて和歌山モール(消費者向け)」ページ



「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS- (バイヤー向け)」ページ

'25実績

(2026. 3月末時点)

- 課題解決型デジタルマーケティング講座：12事業者を支援
ワークショップ 5 回（リアル、WEB開催）、オンラインでの個別相談
- モール 閲覧数：453,951PV（月間約37千PV、20～40歳代の女性がメイン層）
消費者向け：登録事業者数 225社、登録商品数 836商品
バイヤー向け：登録事業者数 225社、登録商品数 1,085商品、登録バイヤー数 641名

3.食品関係産業の振興

経済団体、金融機関、行政機関、食品産業団体等が協力体制を構築し、オール和歌山でワンチームとなって食品関係産業の振興を推進するとともに、食品流通の核として重要な役割を持つ卸売市場の整備・強化を支援します。

(主な取組)

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・和歌山県中小企業団体中央会
- ・和歌山県商工会議所連合会
- ・和歌山県商工会連合会（食品関連情報の共有）
- ・（公財）わかやま産業振興財団（わかやま産品商談会in和歌山 及び in大阪）
- ・（株）日本政策金融公庫（わかやま産品商談会in和歌山 及び in大阪）
- ・（株）紀陽銀行（地方銀行フードセクション）
- ・（独）日本貿易振興機構（県産物の輸出）等

○和歌山県食品産業協議会と連携した取組

- ・「和歌山の食品」に関する情報発信
- ・食品関連の研修、セミナーの開催 等

○包括連携協定締結団体と連携した取組

- ・【企業内物産展】明治安田生命保険相互会社、日本航空（株）
- ・【県産品販売・活用】くら寿司（株）
- ・【カタログ販売】日本郵便（株）
- ・【県産食材の機能性発信】日本栄養大学
- ・【物産や観光等の協同PR】石川県 等



石川県連携フェア

○和歌山市中央卸売市場の再編整備

- ・実需者ニーズに合わせたコールドチェーン対応の閉鎖型市場施設の整備
- ・実施年度：平成30年度～令和8年度
- ・実施概要：青果棟、水産棟、総合食品センター等の整備



青果棟整備

'25 実績

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・（公財）わかやま産業振興財団：わかやま産品商談会in和歌山

○和歌山県食品産業協議会と連携した取組

- ・会員への食品関連情報の案内（年間23件）
- ・大阪・関西万博「和歌山WEEK」出展（2025.4.30～5.3）

○包括連携協定締結団体と連携した取組

- ・日本郵便（株）：郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山」

○和歌山市中央卸売市場青果棟の完成

- ・売場施設（11,700m²）、貯蔵・保管施設（900m²）、市場管理センター（1,546m²）

1.わかやま紀州館を活用した販路開拓

2024年6月にリニューアルオープンした県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用し、首都圏における販路開拓支援と県産品の魅力発信を展開します。

「商品出品」・「店頭販売」の
申込など詳細についてはこちら

(主な取組)

○「わかやま紀州館」での県産品の販売・PR

- ・テストマーケティング販売（3ヵ月間）の実施
- ・県内事業者への店頭販売スペースの提供
- ・店頭での特集コーナー設置による旬の商品紹介
- ・マスコミへの取材協力を通じた県産品の機能性をPR



○バイヤー向け商談機能の強化

- ・「わかやま紀州館」を首都圏バイヤー向けの商談拠点とし、バイヤーが商品を手に取ることができ、常駐職員を通して、県内事業者とのマッチングを実施



Instagramの
QRコード↓



○公式HPやSNSを活用した情報発信

- ・より多くのお客様に商品の最新情報を知ってもらうため、紀州館で販売する商品をInstagram等で紹介



公式HP

○「わかやま紀州館mini」を活用した県産品の販売・PR

- ・県外で県産品を販売するスペースを有する店舗（「わかやま紀州館mini」）の展開
※全国20店舗（2026.3.31時点）
【関東3、中部1、近畿16】



紀州館mini登録店
(梅酒堂)の様子

【わかやま紀州館】

- 場 所 東京都千代田区有楽町2-10-1
- 連絡先 03-6269-9434
- 営業時間 10:00～19:00 (日曜・祝日は10:00～18:00)
- URL <https://kishukan.com/>



【和歌山県東京観光センター】

- 連絡先 03-3216-8000
- 営業時間 10:15～19:00 (土日・祝：休)



○店舗外での県産品のPRや販売

- ・首都圏等での発信力の高いイベントへの出店



首都圏でのイベント出店の様子
(左：JAL本社 右：明治安田生命)

○イートインコーナーの活用

- ・和歌山県産果実を使ったジェラートの販売
- ・店内で販売している梅酒や日本酒を使用した飲み比べセットの販売



イートインコーナーでの提供商品

○「わかやま紀州館」周年記念イベントの開催

- ・みかんを活用したフォトスポットを設置し、来場者によるSNS発信を促進
- ・和歌山県観光大使「山西アカリ」さん、和歌山県出身モデル「坂尻夏海」さんなどのインフルエンサーとの連携PR



SNSで発信した方を対象とした抽選会の実施



和歌山ゆかりのインフルエンサーによるPR

○「和歌山一番星アワード」連携プロモーションの展開

- ・わかやま紀州館を活用した認定商品の販売や店頭PRの実施



和歌山
一番星
AWARD



'25実績

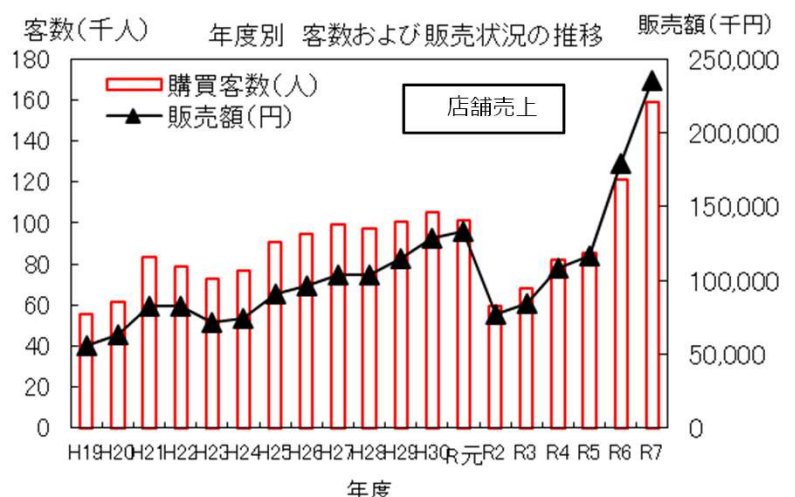
○わかやま紀州館

(2026.3.31現在:店舗売上)
【購買者数】159,150名
(対前年度 131.1%)
【売上】235,575千円
(対前年度 131.1%)
【出品事業者数】263社
【出品アイテム数】1,091点

○出前(出張)紀州館

【出店回数】10回
【売上】約3,513千円
※主な出店先
KITTE大阪など

○その他 店舗外売上 約5,958千円(紀州館mini SAKAeL MARCHE など)



2. 「おいしく食べて和歌山モール」の活用

和歌山県 食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」を核に、より多くの消費者やバイヤーと県内事業者を結ぶ機会を創出します。

○「おいしく食べて和歌山モール」（消費者向け）

生産現場の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトを開設し、県内事業者のeコマースによる販促を支援

県内事業者のECサイト

楽天 YAHOO! JAPAN
amazon POCKETMARCHÉ
食べチョク 産直アウル
自社ECサイト 等

集約

和歌山の「おいしい」を探すならココ！

自然豊かな和歌山県は、全国に誇る「食の宝庫」！
ここでは、和歌山の県産品をすぐに見つけることができます！
※ 購入ボタンを押すと、商品販売ページに移動します。

「和歌山の食」PR動画

四季折々、地域ごとに異なる表情をみせる「和歌山の食」PR動画をぜひご覧ください。

特集ページも盛りだくさん！

県産品のブランドストーリーや、季節のおくりもの、ダイエット&ビューティー企画など…旬の情報や、様々なテーマに沿った特集ページを毎月更新しています。

毎月特集ページを更新中！

https://oishii-wakayama.com/

「おいしく食べて和歌山モール」で検索！

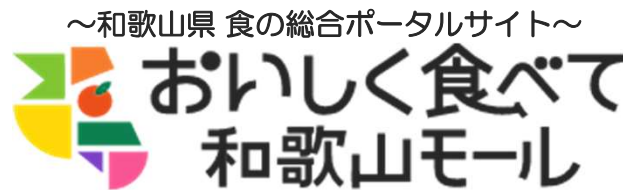
デジタルマーケティングによる誘客

- 季節に合わせた商品特集や様々な食にまつわるコンテンツの充実 Webマガジンの掲載
- Google検索広告やSNS(Instagram) 広告の掲載
- SEO対策、SNSとの連携など

誘客

(和歌山モールQRコード)
https://oishii-wakayama.com

流通関係者 向け
(B to B)



一般消費者 向け
(B to C)

○「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」（バイヤー向け）

県産品・中間加工品の事業者とバイヤーを「結ぶ」オンライン商談システムを構築

国内外バイヤー

食品商社
食品卸
百貨店
スーパーマーケット
コンビニエンスストア
通信販売業
外食産業
中食産業
ホテル旅館業
食品加工業

登録

**和歌山モール
-FOR BUSINESS-**

検索が便利に！

様々なカテゴリの商品を同時に検索することができます。商談に役立つ詳細な商品情報を掲載！

お気に入り登録で、後からでもすぐに情報にアクセス！

気になった商品を「お気に入り登録」することができます。お気に入り登録した商品はいつでもマイページから確認できます。また、商品情報が更新された場合はお知らせが通知されます。

https://oishii-wakayama.com/for-business/

オンライン商談ルームで即商談！

事業者、バイヤー双方が「売りたい」「買いたい」等の情報を登録できます。気になるオンライン商談ルームがあった場合、商談希望を出すことができ、即座にチャット機能で商談が開始できます。

新商品できました！

新しい商品をさがしています

県内事業者

バイヤー

商談開始

独自の製法で作っています

珍しい商品を募集中です

商品管理DB機能

登録商品が一覧管理でき詳細情報を登録できるDBの機能を強化

海外向け商品ページ

商品カテゴリーや賞味期限、提案先国など様々な条件で商品検索が可能

'25実績

(2026. 3月末時点)

○モール 閲覧数： 453,951PV (月間約37千PV、20～40歳代の女性がメイン層)

消費者向け：登録事業者数 225社、登録商品数 836商品

バイヤー向け：登録事業者数 225社、登録商品数 1,085商品、登録バイヤー数 641名

3.有名百貨店・通販カタログ等での販売促進

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、拡大を続ける「EC」、「カタログ」等の通販市場における販路開拓を行い、県産品の認知度、売り上げアップを目指します。

(主な取組)

○県とJAで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、

県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPRを展開

- ・首都圏(日本橋三越本店、銀座三越、伊勢丹新宿店等)および名古屋(ジェイアール名古屋タカシマヤ)ならびに関西(阪神梅田本店、阪急うめだ本店等)の高級百貨店とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



かきのPR
(ハロウィンをイメージ)
(日本橋三越本店)



みかん・かきの販売コーナー
(銀座三越)



みかんのPR
(伊勢丹新宿店、
ジェイアール名古屋タカシマヤ)



はっさく、キウイのPR
(伊勢丹新宿店)

○有名百貨店での食品催事等の開催

- ・近隣県と連携した広域物産展の開催
- ・首都圏等の有名百貨店における食品催事の開催
- ・有名百貨店への県産品の提案やオンライン物産展の開催



山形屋

'25実績

- ・首都圏百貨店3店舗で2025.10～11月、2026.2～3月にみかん・かき等をPR
- ・在阪百貨店2店舗で2025.6～7月にもも等をPR
- ・山形屋(鹿児島)「第14回 三重・和歌山・奈良の物産展」2026.2.17～23

○通販カタログへの県産品掲載

- ・市場が拡大傾向にある大手通販カタログやECサイトによる販売促進

郵便局
カタログ



'25実績

○郵便局カタログ「特選和歌山のええもん詰合せ」

紙面・WEB掲載：46事業者/59商品(非食品含む)

発行部数：25万部

販売チャネル：関東エリア(東京都、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、群馬県、神奈川県、山梨県)、近畿2府4県の郵便局、郵便局のネットショップ

4.県産品ブランディングセールス

県産食材の品質の高さや機能性をテーマに高級百貨店や老舗果物専門店、外食店等で利用促進を図ることで、知名度とブランド力の向上を目指します。

(主な取組)

○県とＪＡで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、
県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なＰＲを展開 **【再掲】**

- ・首都圏高級百貨店(日本橋三越本店、銀座三越、伊勢丹新宿店等)および名古屋高級百貨店(ジェイアール名古屋タカシマヤ)ならびに関西高級百貨店(阪神梅田本店、阪急うめだ本店等)とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催

'25実績

- 阪神梅田本店、阪急うめだ本店（もも：2025.6.25～7.8）
銀座三越、日本橋三越本店（かき・みかん：2025.10.15～10.28）
伊勢丹新宿店（みかん：11.29～30、はっさく・キウイ：2026.2.25～3.3）

○有名シェフの招へい

トップシェフによる産地視察等の実施



○料理専門誌（Webメディア等）とのタイアップ

外食業界において知名度が高く影響力のあるレストランの有名シェフを招へいし、魅力ある県産食材の提案を行うとともに、産地訪問の様子を料理専門誌に掲載することで料理業界での知名度とブランド力を向上



トップシェフによる産地視察と料理専門誌への記事掲載

'25実績

- 料理専門誌「あまから手帖11月号」神戸ポートピアホテル料理長産地視察および食材フェアに関する記事掲載（視察：2025.8.25～8.26、フェア期間：2025.11.1～12.30）
採用食材：マグロ、アジアカエビ、紀州うめどり、紀州梅たまご、ウメ（露茜）他

○大阪・関西万博開催を契機とした関西圏の外食への食材提案アプローチ

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・有名ホテル、レストラン等での和歌山フェア開催
- ・高級外食店への食材提案



レストラン・ミディひらまつ

日本料理 神戸たむら

○老舗果物専門店とコラボした県産果実のPR

- ・県産果実の販売や県産果実を使用した商品の開発
- ・新宿高野「カルチャースクール」での県産果実の魅力発信



新宿高野本店

○県産食材のもつ機能性の発信

- ・日本栄養大学等とのタイアップ事業の実施
- ・食材機能性ガイドを大学監修のもとに作成し、県産食材が持つ様々な機能性を積極的にPR



機能性ガイド

○県産食材のテロワール（生産地の気候、風土、ストーリー）による魅力発信

- ・品目別テロワール冊子の配布
- ・Webサイトでの特産品や郷土料理情報の発信



テロワール冊子



調理師専門学校での出前授業



和歌山大学教育学部附属小学校での出前授業

○県オリジナル品種等の魅力発信

- ・県が育成した農産物の新品種や今後首都圏を中心に販売シェアを獲得したい品目について、重点的にプロモーションを展開



紀州てまり



まりひめ



紀州うすい



びんちょうまぐろ



鮎

'25 実績

- 神戸ポートピアホテル「関西うまいもん博覧会」（2025. 5. 1～6. 30）
- レストラン・ミディひらまつ（大阪）11周年特別記念パーティー（2025. 7. 10）
- 新宿高野のカルチャースクールにて、かき料理の試食を含めたPRを実施（2025. 11. 7）
- 和歌山大学教育学部附属小学校の5年生1クラスを対象に、県産食材のテロワールについて出前授業を実施（2025. 7. 7）
- 辻調理師専門学校「日本料理クリエイティブ経営学科」2年生を対象に、県特産の農林水産物等18品目についてテロワールや調理例を紹介する出前授業を実施（2026. 1. 27）

5. 県主催産品商談会の開催

食品バイヤーを本県に招へいし商談機会を創出するとともに、首都圏で開催される大型展示商談会への出展に向けたステップの機会として、県主催商談会を和歌山や大阪で開催します。

(主な取組)

○県産品マッチング商談会の開催

招へいする食品卸、小売等のバイヤーのニーズと県内事業者の販路のニーズを事前に把握したマッチング形式の商談会を開催するとともに、生産・製造現場等への案内を通じて理解の促進を図ります

【開催時期】10月21日(水)～22日(木)(予定)

【開催場所】白浜町

【参加バイヤー】食品卸、小売(百貨店、スーパー等)、通販、
外食バイヤー等 10～15名程度

【募集者数】30社(予定)

【募集時期】7月募集終了



商談会



現地視察

'25実績

【開催日】2025. 10. 29～10. 30

【開催場所】HOTEL SEAMORE (白浜町)

【参加バイヤー】卸、小売、外食、輸出 12社

【参加者数・商談数】県内事業者 36社、93商談

○わかやま産品商談会 in 和歌山

農水産物や新しく開発した加工食品の紹介など、主として県内での販路拡大や地産地消の推進を目的に開催

【開催時期】11月19日(木)

【開催場所】ホテルアバローム紀の国

【募集時期】5月募集終了



わかやま産品商談会in和歌山

'25実績

【開催日】2025. 11. 20

【開催場所】ホテルアバローム紀の国

【来場者数】267人

【出展者数】79社(団体)(うち新規事業者19社)

○わかやま産品商談会 in 大阪

新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援。令和8年度は、FOOD STYLE JAPAN2027<関西>併催イベントとして開催。

【開催時期】令和9年1月27日(水)～28日(木)

【開催場所】インテックス大阪

【来場企業】卸売・流通業、小売業、外食業、
食品メーカー等

【出展者数】50社(予定)

【募集時期】6月募集終了



FOOD STYLE Kansai 2025 (併催イベント)

'25実績

【開催日】2026. 2. 3

【開催場所】大阪マーチャンダイズ・マート

【来場者数】691人

【出展者数】70社(うち新規事業者9社)

6.大型展示商談会への出展

新たな販路開拓や販路の拡大を支援するため、国内外の食品関係事業者やバイヤーが集結する大型展示商談会へ「おいしい！健康わかやま」をコンセプトとしたブースを出展します。

(主な取組)

○第9回フードストア ソリューションズ フェア2026

西日本を代表する大手小売企業も運営委員を務める展示会に、
近畿農政局連携のもと「みどりの食料システム戦略コーナー」に集団出展

【開催期間】 9月9日（水）～10日（木）

【開催場所】 インテックス大阪

【募集者数】 2事業者（環境に配慮した農産物の生産者に限る）

募集終了



フードストア ソリューションズ フェア

'25実績

【開催期間】 2025. 9. 4～9. 5

【開催場所】 インテックス大阪

【来場者数】 10, 939人

【出展者数】 4事業者

○第61回 スーパーマーケット・トレードショー2027

スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会

【開催期間】 2月17日（水）～19日（金）

【開催場所】 幕張メッセ 【募集者数】 18社

【募集時期】 6月 募集終了



スーパーマーケット・トレードショー

'25実績

【開催期間】 2026. 2. 18～2. 20

【開催場所】 幕張メッセ

【来場者数】 80, 922人

【出展者数】 21事業者

○第52回 FOOD EX JAPAN 2027

国内外の食品関係事業者やバイヤー等が参加するアジア
最大級の国際食品・飲料専門展示商談会

【開催期間】 3月9日（火）～12日（金）

【開催場所】 東京ビッグサイト 【募集者数】 18社

【募集時期】 6月 募集終了



FOOD EX JAPAN

'25実績

【開催期間】 2026. 3. 10～3. 13

【開催場所】 東京ビッグサイト

【来場者数】 73, 842人

【出展者数】 18事業者

※和歌山県が出展するブースの中で、出展事業者に商品等を展示していただきますので、個別に出展する場合に比べて展示面積はやや狭くなりますが、相乗効果による来場者の増加が期待されます。また、和歌山県が装飾等の費用を負担しますので、出展事業者は経費を抑えて出展することができます。

7.食品卸や商社等主催商談会への出展

特色ある県産品の認知度向上、販路開拓及び販売促進を目的として、大手食品卸や商社が主催する展示商談会へ出展します。

(主な取組)

○加藤産業 秋&冬の新製品発表会

全国の加藤産業株式会社の客先企業等に対し、
試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】 7月16日(木)～17日(金)

【開催場所】 神戸国際展示場

【募集者数】 5事業者

【募集時期】 5月 募集終了



加藤産業
秋&冬の新製品発表会

'25実績

【開催期間】 2025. 7. 10～7. 11 【開催場所】 神戸国際展示場 【出展者数】 5 事業者

○三井物産流通グループフードショー

全国の三井物産流通グループ株式会社の客先企業等に対し、
試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】 7月15日(水)～16日(木)

【開催場所】 パシフィコ横浜

【募集者数】 5事業者

【募集時期】 4月 募集終了



三井物産流通グループ
フードショー

'25実績

【開催期間】 2025. 7. 24～7. 25 【開催場所】 パシフィコ横浜 【出展者数】 5 事業者

○国分中部株式会社 春夏商品展示会

東海圏中心の国分中部株式会社の客先企業等に対し、
試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】 1月27日(水)

【開催場所】 名古屋東急ホテル

【募集者数】 4事業者(予定)

【募集時期】 11月頃



国分中部株式会社
春夏商品展示会

'25実績

【開催期間】 2026. 1. 30 【開催場所】 名古屋東急ホテル 【出展者数】 3 事業者

8. 関西広域連合との連携プロモーション

関西広域連合域内の農林水産物・加工食品の販路拡大を図るため、構成府県市が連携のもと、各種取組を展開します。

＜分野事務局：広域産業振興局 農林水産部・・・国内外への農林水産物の販路拡大＞

【構成団体】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県
京都市、大阪市、堺市、神戸市（連携団体：福井県、三重県）

（主な取組）



OWEB型マッチング商談会の開催

多様な販路の開拓を支援するため、関西広域連合ならではのスケールメリットを活かし、広域におけるWEB型の商談会を開催

関西広域連合WEB型マッチング商談会

【開催期間】 12月上旬

【募集時期】 9～10月頃



'25実績

【開催期間】 2025. 12. 9 ほか

【招聘バイヤー数】 27バイヤー

【参加事業者数】 62事業者

【WEB商談件数】 147件

○海外輸出セミナーの開催

海外輸出における最新の動向や、輸出に取り組む事業者の事例報告など、域内事業者を対象とした効果的に輸出に繋げるためのセミナーを開催

関西広域連合食品輸出セミナー

【開催期間】 令和9年1～2月頃

【募集時期】 12月頃～

関西広域連合

食品輸出セミナー
～米国の開拓推進と米国市場の最新動向～

関西広域連合では、食品の輸出促進に向けた機運醸成を図るため、食品輸出セミナーを開催します。

今回は、米国の開拓や市場の最新動向を解説し、ご商談いただく皆様との今後の輸出拡大への第一歩となることを目指します。

既に輸出に取り組まれている事業者の方はもちろん、これから挑戦したいとお考えの方の積極的な参加を広くお呼びかけいたします。

- 日 時：令和9年2月6日（金）午後2時～午後4時
- 場 所：ZOOMを利用したオンラインセミナー
- 対象者：食品輸出に関心をお持ちの食品事業者等（定員枠あり）
- 費 用：無料
- 主 催：関西広域連合

○プログラム

講演1 トランプ政権の関税政策と日本企業への影響
日本経済団体連合会（JETRO）調査部 米州課 課長代理 安室 有希 氏

講演2 米国地産マーケットの最新状況及び関税政策の影響について
クラウン製菓株式会社 営業部 特別課 課長 山崎 雄介 氏

講演3 輸出に取り組む事業者の事例報告①
株式会社ほんま 代表取締役社長 斎藤 賢典 氏

講演4 輸出に取り組む事業者の事例報告②
株式会社山崎 代表取締役 CEO 山崎 直代 氏

下記 URL または右の二次元コードからお申込みください
<https://openforms.jp/forms/965/961302262>

申込締切：令和9年2月4日（水）

お問い合わせ先
関西広域連合 広域産業振興局 農林水産部 海外促進課（和歌山県 鳥取県 徳島県）
担当：中野・廣瀬・月夜 TEL：073-441-2817

講演者紹介

講演1
トランプ政権の関税政策と日本企業への影響
日本経済団体連合会（JETRO）調査部 米州課 課長代理 安室 有希 氏
2007年にJETROに入社。調査部米州課、貿易政策課、シニア・事務官、農林水産部調査チームなどを経て、2025年6月より現職。

講演2
米国地産マーケットの最新状況及び関税政策の影響について
クラウン製菓株式会社 営業部 特別課 課長 山崎 雄介 氏
北米を中心に、世界計30カ国・地域へ日本産果・食料を輸出。小売業から業務用まで幅広く取り扱い、米国・米国・米国の各都府県に合わせた輸出業務を展開。米国市場の最新動向や関税政策の日本産果輸出に必要となる情報について、実務経験に基づき解説いたします。

講演3
輸出に取り組む事業者の事例報告①
株式会社ほんま 代表取締役社長 斎藤 賢典 氏
昭和39年（1966年）に北米市場で創業し、100年を超えて菓子づくりの伝統と技術を受け継ぐ。代表商品「月夜まんぼ」をはじめ、和洋折衷の菓子を開発し、海外向けに輸出は 물론 パッケージデザイン・ロゴデザイン・商品開発・マーケティングまで一貫して手がけている。最近では米国の日本産果の輸出に必要となる情報について、実務経験に基づき解説いたします。

講演4
輸出に取り組む事業者の事例報告②
株式会社山崎 代表取締役 CEO 山崎 直代 氏
昭和26年（1951年）創業の和菓子店。日本産・リキュールを中心に国内外で展開し、伝統の味と最新の技術を生かしてさまざまな新しい「和」文化を創出する。酒類、和菓子類ではブランド「山崎」の酒類の開発・製造・マーケティングも手がけている。輸出業務では米国の日本産果の輸出に必要となる情報について、実務経験に基づき解説いたします。

'25実績

【開催期間】 2026. 2. 6

【参加者数】 221名

9. 外食産業タイアッププロモーション

様々な業態の外食産業での和歌山フェアの開催等を通じ、県産食材のブランド力・認知度の向上や販路拡大を図ります。

○外食産業とのマッチング、フェアの開催

- ・バイヤー、シェフの生産者および産地視察のアテンドを実施
- ・シェフへの食材提案、特別イベント等の実施



○飲食店とタイアップした県産品の販路拡大

- ・わかやま産品応援店への登録推進
登録店舗数 県内：163 店舗
県外： 48 店舗
- ・わかやま食ツーリズムを通じた魅力発信
掲載店舗数 県内：263 店舗
県外： 50 店舗



'25 実績

- 神戸ポートピアホテル「関西うまいもん博覧会」 (2025. 5. 1～6. 30)
- CITABRIAシェフ産地視察 (2025. 5. 27～5. 29)
- リストランテル・ミディひらまつ 11周年特別記念パーティー (2025. 7. 10)
- CIRPASシェフ産地視察 (2025. 8. 4～8. 6)
- HUBでの和歌山梅酒フェア (2025. 8. 4～8. 31)
- 神戸ポートピアホテル 日本料理 神戸たむら料理長産地視察および和歌山食材フェア開催
(視察：2025. 8. 25～8. 26、フェア期間：2025. 11. 1～12. 30)
- EWIGシェフ産地視察 (2025. 9. 7～9. 9)
- 渋谷スクランブルスクエア内 玄点・あおばだんご本舗 和歌山食材フェア (2025. 11. 15～12. 14)

10.大手企業とのタイアップによる商品開発

発信力のある大手企業とのタイアップにより商品づくりを行うことで、広く県産食材のPRを行い、さらなるイメージアップと県産食材のファンづくりを推進します。

(主な取組)

- 大手食品・飲料メーカー、コンビニエンスストアに県産食材の魅力をPR
- 「和歌山県共同開発商品PRマーク」の利用促進
- 産地と大手企業の連携による商品開発



県内外の量販店にて青果と連動したPR



大手コンビニエンスストアにて和歌山フェアを開催



商品開発に向けて産地にアテンド

食品メーカーやコンビニエンスストアで発売された県産食材を使った協力商品



(株)ローソン



(株)セブン-イレブン・ジャパン



カゴメ(株)



(株)ファミリーマート



アサヒ飲料(株)

『和歌山県共同開発商品PRマーク』

全国での和歌山県産品の認知向上を図ることを目的に、県と民間企業とが県産品を活用して共同開発した商品に付すロゴマークです。



'25 実績(一部抜粋)

- (株)ローソンが「南高梅」を使用した『おろしぶっかけうどん(紀州産梅のしそ梅)』を発売(2025.5.20~近畿2府4県を中心としたローソン店舗)
- (株)セブン-イレブン・ジャパンが『鶏ささみの紀州南高梅だれ』『紀州南高梅使用 おつまみ胡瓜と大根』(2025.6.16週~)、『梅え胡瓜と大根 紀州南高梅』(2025.7.21週~)、『たっぷりホイップのダブルシュー あら川の桃』(2025.8.11週~)、『有田みかんサンド』(2025.12.8週~)を発売(近畿2府4県を中心としたセブン-イレブン店舗)
- カゴメ(株)が『野菜生活100有田みかんミックス』を発売(2025.11.4~全国の量販店他)
- (株)ファミリーマートが「有田みかん」を使用した『とろける食感 ぎゅっとみかん』(2025.9.9~全国のファミリーマート店舗)、『和歌山県産しらすと梅のお弁当』『ふんわりもちパン(みかん) 和歌山県産みかんのクリーム使用』等(2025.11.11~近畿2府4県を中心としたファミリーマート店舗)を発売
- アサヒ飲料(株)が県産「南高梅」を使用した『三ツ矢梅ソーダ』を発売(2026.3.31~全国の量販店他)

11. 県産酒類の魅力発信

和歌山の「日本酒」や「本格梅酒」のそれぞれの魅力や特徴をわかりやすく、国内外の消費者にPRすることにより、ファンづくりと消費拡大を目指します。

(主な取組)

○日本酒や本格梅酒の魅力を各種大型イベント等でPR

- ・「日本酒マッピング図」及び「梅酒マッピング図」を活用のもと、飲食業関係団体等との連携によるブース出展やフェア開催などを通じた魅力発信を展開

日本酒マッピング図



梅酒マッピング図



【本格梅酒】とは

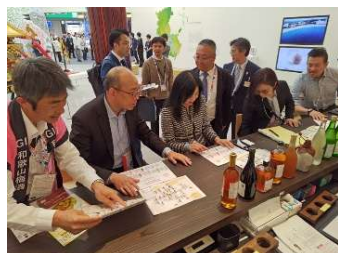
日本洋酒酒造組合が平成27年1月23日に制定した自主基準で、うめ・糖類・酒類のみを原料とし、酸味料等を使用していない梅酒

【GI和歌山梅酒】とは

本格梅酒のうち、一定の生産基準を満たし品質が保証されているとして、「GI和歌山梅酒管理委員会」の審査により認められた梅酒



- ・イベントや百貨店フェア、商談会などの機会を通じたPRの実施



「大阪・関西万博」
和歌山ゾーン



「高野山会議2025」
日本酒、梅酒PRブース



「和歌山 FAN MEETING 2025」

'25 実績

- 「日本酒マッピング図」・「梅酒マッピング図」のイベント等での配付
 - ・大阪・関西万博2025 和歌山ゾーン (2025. 4～10の毎月2日間)
 - ・高野山会議2025 レセプション (2025. 7. 22 高野山、7. 26 万博イタリア館)
 - ・和歌山の地酒を楽しむ会2025 (2025. 9. 26)
 - ・万博レガシー展 前夜祭(2026. 2. 13)
- 首都圏等におけるPR展開
 - ・御殿山さくらまつり (2025. 3. 29～30、4. 5～6)
 - ・和歌山 FAN MEETING 2025 (観光PRイベント) (2025. 10. 6)
 - ・ジャン・シリンジャー杯 (フランス料理コンクール) (2025. 11. 11)
 - ・和歌山一番星アワード PRイベント (2026. 2. 20)

12. 「おいしい！健康わかやま」の推進

より多くの消費者に和歌山の食材を知ってもらうため、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに魅力いっぱいの県産品情報を発信します。

(主な取組)

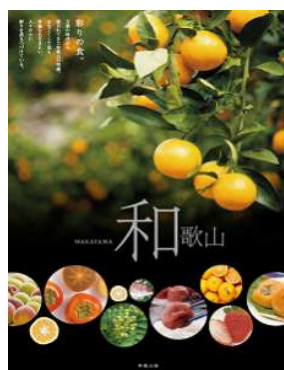
- 消費者等を対象とした各種イベントにて、おいしく健康な県産食材の魅力を発信
- 県産食材のストーリーをテロワールの観点から紹介
- パンフレットやポスターなど販促資材の作成・活用



イベントでの県産品 P R



県産食材を使用した「アウトドア飯」



'25実績

- 県内で開催された大型ライブにて P R ブースを設置
(中島由貴：2025. 7. 20、 YOASOBI：2025. 9. 25、27、28)
- 「ニュータッチ 凄麺 和歌山中華そば」を発売中のヤマダイ(株)WEBページにて、県内グルメを紹介(2025. 8. 21～)
- (株)オークワ、味の素グループと連携し、消費者キャンペーン及びWEBにて、しらすやミニトマト等の県産食材を使用した「アウトドア飯」を考案し紹介(2025. 7. 21～)

○ソーシャルメディア等を活用した「おいしい！健康わかやま」の魅力発信

- ・拡散効果が期待できる「高い話題性」や「高いエンタメ性」のある県産品情報や、イベント情報の投稿など、幅広い層にアプローチできる情報を発信
- ・和歌山県ゆかりのインフルエンサーの協力による、SNS等を活用した県産品の魅力発信



Instagram



Facebook



X



YouTube



本谷紗己さんが梅しごとを P R

'25実績

- SNSで「おいしい！健康わかやま」を情報発信(2026. 3月末日時点)
【フォロワー数】Instagram：5,608人、Facebook：1,346人、X：4,116人、YouTube：1,320人(総再生回数 309,350回)

1.海外における和歌山プロモーション

海外市場における県産品の魅力向上と認知度拡大を目的に、果実や加工食品のフェア、関係機関との連携による食品輸出ミッションなど、多彩なプロモーションを展開します。

(主な取組)

○和歌山県産酒類プロモーションの推進

県産梅酒が酒類の地理的表示（GI）に指定されたことを契機に、2021年度から「GI和歌山梅酒管理委員会」と連携してGI和歌山梅酒を中心に、県産梅酒のブランド力向上および販路開拓・拡大を図るプロモーションを展開。

今年度は、新たに和歌山県酒造組合とも連携し、梅酒に加えて日本酒も含む「和歌山県産酒類」のプロモーションを実施。

<「UMESHU×SAKE」和歌山県産酒類ブランド化推進事業>

【イギリス：ロンドン 時期：7月】 4月28日に募集終了

- ・酒類取扱関係者向けマスタークラス（講習会）の開催
- ・酒類取扱関係者向け商談会の開催
- ・日本文化関連イベントへの出展



Hyper Japan London

【フランス：ディジョン 時期：11月】 8月6日に募集終了

- ・石川県と連携した県産品PR事業内での酒類プロモーション実施



マスタークラス
（ブリスベン）

【オーストラリア：ブリスベン、メルボルン 時期：8月】

6月26日に募集終了

- ・現地系外食関係者向けマスタークラス（講習会）の開催
- ・レストランやバーとの連携プロモーション
- ・現地酒販店等での試飲プロモーション



試飲商談会
（香港）

<酒類試飲商談会の開催>

【香港 時期：6月】 4月20日に募集終了

- ・酒類輸入商社などのバイヤーを対象とした試飲商談会を開催

'25実績

- ・マスタークラスの開催 7月（イギリス）、9月（オーストラリア）、1月（フランス）
- ・出展イベント 7月 Hyper Japan London（イギリス最大の日本文化の総合博覧会）
10月 Drink Japan（イギリスでの日本産飲料を体験できるイベント）
- ・現地酒販店での和歌山梅酒キャンペーンの実施（9～10月/オーストラリア（メルボルン））
- ・梅酒試飲商談会の開催（香港・中国・イギリス・オーストラリア）

○県産果実のフェア（小売店・百貨店）開催及び新規市場開拓

- ・県産果実の認知度向上とブランド形成を目的とした果実フェアを開催

うめ：6月（香港、シンガポール）

もも：7～8月（香港、シンガポール、台湾）

かき：10～12月（香港、シンガポール、米国）

みかん：12～1月（香港、シンガポール、米国、タイ）

- ・JETRO和歌山と連携し、ドバイ向け柿輸出に向けた取り組みを実施



米国でのみかんフェア

'25実績

- ・シンガポールの高級スーパー「Cold Storage」にて、もも・みかんフェアを開催
- ・米国ニュージャージーの日系スーパー「Mitsuwa Marketplace」にて、みかんフェアを開催（新規）

○加工食品を中心とした和歌山フェアの開催

■米国

PPIHとの連携による「和歌山フェア」の開催（カリフォルニア・ハワイ）

- ＊ 2021年3月に株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）と県産品の輸出拡大に向けた連携協定を締結。これを活用し、同社が運営する米国の店舗での加工食品フェアやアジアの店舗での青果物フェアを開催

・和歌山フェア（カリフォルニア）

時期：4月16日～5月13日

場所：Tokyo Central 等（計8店舗）

・和歌山フェア（ハワイ）

時期：5月6日～5月26日

場所：Donquijote、Marukai Wholesale mart、Times 等（計6店舗）

※両フェアの商談は前年（令和7年）10月23日に実施済み



米国（カリフォルニア・ハワイ）における和歌山フェアの様子（2025年5月）

■台湾

台湾の高級百貨店である漢神百貨の主要都市店舗（台中・高雄）において、加工食品フェアを開催。

- ＊ 台中は、漢神百貨の新店舗

・和歌山フェア（高雄・台中）

時期：9月（高雄）、10～11月（台中）（商談会は7月2、3日に実施済み）

場所：漢神アリーナ店（高雄）、漢神インターコンチネンタル店（台中）



和歌山フェアin台湾（台北・高雄）における和歌山フェアの様子（2025年9～10月）

■タイ

バンコクの複合施設「ワンバンコク」（2024年10月開業）内に出店しているデパ地下「MITSUKOSHI DEPACHIKA」で加工食品・青果物のフェアを開催

・和歌山フェア（バンコク）

時期：1月（商談会は5月28日に実施済み）

場所：MITSUKOSHI DEPACHIKA

'25実績

- ・米国ロサンゼルス食品スーパー「Tokyo Central」及び「Marukai」の計7店舗で加工品を中心とした和歌山フェアを開催（5月15日～6月11日）
- ・米国ハワイ食品スーパー「Don Quijote」及び「Times」、「Marukai Wholesale Mart」の計6店舗で加工品を中心とした和歌山フェアを開催（5月7日～27日）
- ・台北の遠東SOGOと高雄の漢神百貨において和歌山フェアを開催（台北：9月26日～10月12日、高雄：9月17日～10月5日）

2.輸出拡大に向けた環境整備

輸出先国のニーズや規制等に対応した産地づくりや食品加工施設の整備を進め、輸出拡大に向けた生産体制の強化を促進します。

また、日本貿易振興機構(JETRO)と連携し、貿易実務や海外販路開拓など、輸出に関する取組を包括的に支援します。

(主な取組)

○農産物生産体制の強化支援（県関係課室・研究機関等と連携）

- ・輸出向け農産物の確保・増産
輸出対応の生産基盤を強化するため、輸出園地や関連施設の整備を支援。
- ・鮮度保持技術の研究推進
民間企業や県試験研究機関等との連携による、長期輸送を可能にする鮮度保持技術確立に向けた研究を推進。
- ・残留農薬基準への対応支援
海外の残留農薬基準に対応した病虫害防除体系の構築に向けた情報収集・提供を実施。
- ・植物検疫条件への対応支援
米国、台湾、タイ、ベトナムなど、植物検疫条件が厳しい国への輸出を庁内関係課と連携し支援。
- ・輸出規制への対応支援
植物検疫条件や残留農薬規制に関する情報を収集し、輸出を目指す生産者団体等へ随時提供。



'25実績

- ・農林水産業競争力アップ技術開発（令和5～7年度実施）
EU向けサンショウの病虫害防除体系の確立に向けた研究（果樹試験場）

○輸出向けHACCP等対応施設整備支援（国庫補助事業）

- ・輸出先国の衛生・検疫等の規制に対応するために必要な施設や機器の導入、ならびにそれらを適切に運用する体制の整備に向けた取組を支援。



加工場の新設・改修



機器導入・更新
(超高速凍結機)



機器導入・更新
(枝肉冷蔵庫)



HACCP計画の実践

'25実績

- ・相談件数 2件（これまでの県内採択件数：計10件※）
※輸出先国の市場変化に対応した食品等の製造施設等整備の緊急支援事業含む

○輸出証明書の発行

'25実績

- ・産地証明書の発行（台湾向け） 25件
（2025. 11. 21より、台湾向け輸出に関する産地証明書の添付は不要となった）

○選果・こん包施設の認定及び認定書の発行

タイ向け輸出青果物の選果・こん包施設に係る衛生管理の認定及び認定書の発行。

'25実績

- ・認定・更新 6件（認定施設数：13施設）
- ・認定書の原本証明発行 7件

○関西広域連合「食品輸出セミナー」の開催

関西に数多くある高品質で競争力の高い食品の輸出を振興するため、意欲的な事業者には有益な情報を提供し、食品輸出に対する一層の機運を醸成。

'25実績

- ・米国の関税措置と米国市場の最新動向をテーマに、講演及び輸出に取り組む事業者の事例報告をWebにて開催（2026. 2. 6）

○グローバル産地づくりの推進

輸出先国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、農林水産省の輸出促進法に基づく輸出事業計画の策定などの取組を支援。

○インポートトレランス申請の促進

輸出先国で残留基準が設定されていない農薬は使用できないため、輸出先国において基準値を設定するために必要な申請を促進。

○JETRO和歌山との連携による輸出拡大に向けた総合支援

70を超える海外事務所を有するJETROの和歌山拠点と連携し、輸出に意欲的な事業者を発掘し、包括的にサポート。



【JETRO和歌山の主な支援メニュー】

- ・貿易投資相談
自社商品を輸出する際の輸出先国における規制などについて、電話・メール・面談形式で個別に対応。
- ・ハンズオン支援による海外販路開拓支援。
専門家（輸出プロモーター）が製品や会社の状況に応じた輸出戦略を策定するとともに、バイヤー情報の収集から商談への立会い、契約締結まで一貫した支援を実施。
- ・バイヤー招聘による商談会の実施
国内外の有力バイヤーを招聘し、生産施設等への訪問を通じて県産品への理解の促進を図るとともに、商談会を実施することで販路開拓を図る。
- ・中小企業海外ビジネス人材育成塾
海外商談の戦略策定やプレゼン資料の作成方法、商談ノウハウを学ぶ研修。オンライン中心のグループワークを通して、実践的な交渉力や提案力を身に着けます。



3.海外販路開拓に向けた商談支援

海外市場への展開を目指す県内の食品関連事業者に対し、商談機会の創出やデジタルツールの活用を通じ、販路開拓・拡大を支援します。

○ 海外展示会への出展

- FHA（シンガポール） 令和7年9月18日に募集終了
期 間：4月21日（火）～24日（金）
場 所：Singapore Expo
- NRA Show（米国・シカゴ） 令和7年10月29日に募集終了
期 間：5月16日（土）～19日（火）
場 所：McCormick Place
- FOODTAIPEI（台湾・台北） 2月18日に募集終了
期 間：6月24日（水）～27日（土）
場 所：Taipei Nangang Exhibition Centre Hall 1&2
- Hong Kong Food Expo PRO（香港） 4月20日に募集終了
期 間：8月13日（木）～15日（土）
場 所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre
- FHC上海（中国・上海） 6月29日に募集終了
期 間：11月10日（火）～12日（木）
場 所：Shanghai New International Expo Centre



FHA-Food&Beverage 2025



NRA Show 2025



香港フードエキスポ2025

'25実績

• FHA-Food&Beverage	【開催期間】	4. 8～11	【出展者数】	4社
• NRA Show	【開催期間】	5. 17～20	【出展者数】	3社
• FOODTAIPEI	【開催期間】	6. 25～28	【出展者数】	4社
• Hong Kong Food Expo PRO	【開催期間】	8. 14～16	【出展者数】	4社
• FHC上海、ProWine上海	【開催期間】	11. 12～14	【出展者数】	2社
• Gulfood	【開催期間】	1. 26～30	【出展者数】	2社

○ 商社やバイヤーとのマッチングによる販路開拓

- 国内商社商談会
輸出関連の国内商社を招へいし、事前マッチング形式の商談会を開催。
時期：10月及び春を予定
※10月は国内向け商社商談会と同時開催 8月6日に募集終了
※春（募集予定 2月）
- バイヤーとの個別商談機会の創出（随時）
県産品に関心のある国内商社や海外バイヤーとの県内での個別商談の機会を提供。
- WEB商談の実施（随時）
オンラインを活用することで、国内外のバイヤーと効率的に商談できる機会を提供。



国内商社商談会



個別商談（商談会）



個別商談（事業者訪問）

'25実績

- 国内商社商談会 2025. 10. 29～30 【輸出商社】 2 社 【県内事業者】 2 1 社
2026. 3. 4～ 5 【輸出商社】 2 社 【県内事業者】 1 0 社
- 商談等実施件数 6 2 6 件（うち、バイヤーとの個別商談 5 8 7 件、Web商談 3 9 件）

OMOUI締結を活用した商談機会等の創出

- ・香港貿易発展局（2013.7.5締結）
- ・ベトナム農業農村開発省（2015.3.11締結）、商工省（2018.10.8締結）
- ・タイ王国商務省（2019.5.28締結） ※MOU: 行政機関等の組織間の合意事項を記した文書

○デジタルを活用した海外支援

- ・ Web商談ツール「おいしく食べて和歌山モール」の活用
県内事業者の商品を国内輸出商社や海外バイヤーに向けて紹介するため、ポータルサイト内に外国語版の県産品ページを開設

【掲載言語】 英語・中国語・日本語



'25実績

- おいしく食べて和歌山モール 海外向けの登録バイヤー数（2026年3月末） 2 6 1 名

・「JAPAN STREET」事業の活用

JETROが運営する海外の有力バイヤー限定のオンラインマッチングサイト「JAPAN STREET」の活用を促進することで、県内事業者と海外バイヤーとの商談機会を創出



・「JAPAN MALL」事業の活用

世界各国におけるEC市場の急速な拡大を踏まえ、JETROが海外の主要ECサイトを通じて日本商品の輸出拡大を図る「JAPAN MALL事業」の活用を促進

【対象国・地域】

中国、東南アジア、中東、北米、中南米、欧州など



・「日本産食品グローバル・ゲートウェイ事業」との連携

JETROでは、海外の主要都市及び周辺都市に、日本産食品の商品サンプルを展示・保管管理するストックポイントを設置し、海外バイヤーに随時商品を紹介することで、現地バイヤーとのオンライン商談を実施し、日本産農水産物・食品の取扱い事業者の新規参入・販路拡大を目指す



サンプルショールーム 上海

'25実績

- ・ JAPAN STREET事業 県内登録事業者 1 5 7 社（うち食品事業者 9 0 社）
- ・ JAPAN MALL事業 県内事業者商談件数 1 0 件（うち食品事業者 6 件）
- ・ 日本産食品グローバル・ゲートウェイ事業 県内登録事業者 7 社

4.輸出拡大に向けた魅力の発信

県産果実や加工食品の魅力を、動画やパンフレット、ポスター等を活用し、プロモーションやフェアを通じて、積極的に発信します。

また、現地メディア等を通じた情報発信にも取り組みます。

(主な取組)

○梅酒プロモーションを通じた情報発信

- ・梅酒プロモーションにおいて、和歌山梅酒の紹介ビデオやGI和歌山梅酒マッピング図、パンフレットを活用し、梅酒・梅の魅力を発信

○和歌山県フェアを通じた情報発信

- ・販売促進活動やフェアにおいて、中国語・英語のPRポスターやパンフレットを活用し、県産果実の魅力を発信

○現地メディア・SNSを通じた情報発信



梅酒プロモーション
を通じた情報発信



和歌山県フェア
を通じた情報発信



インフルエンサーを通じた情報発信



和歌山梅酒
紹介ビデオ
(英語・仏語)



GI和歌山梅酒
マッピング図
(英語・仏語・中国語)



県産4大果実(梅・桃・柿・みかん)
PRポスター(英語・中国語)

県産4大果実(梅・桃・柿・みかん) PR動画(英語・中国語)



中国語



英語



中国語



英語



中国語



英語



中国語



英語

'25実績

・現地メディア等

SENCHA (仏国) : 日本文化紹介雑誌。WEBにて県産品の紹介記事を掲載

The Caterer (英国) : 飲食の業界紙。WEBにて県産梅の魅力の紹介記事を掲載

Francesco (英国) : インフルエンサー。IGで県産梅酒・梅の魅力を紹介
フォロワー数 約67,000人

khyezr (シンガポール) : インフルエンサー。IGで県産梅酒・梅の魅力を紹介
フォロワー数 約6,000人

Clara Bean (シンガポール) : インフルエンサー。IGで県産みかんの魅力を紹介
フォロワー数 約116,000人

令和7年度 主要事業実績 及び 令和8年度 計画一覧

			令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度計画
営業訪問	バイヤー・県内事業者等との面談	訪問件数	1,115件	1,254件	2,060件	適宜実施
商談会	スーパーマーケット・トレードショー	参加事業者数	21社	19社	21社	募集時期：募集終了 開催期間：2/17～19 募集者数：18事業者
		商談件数	418件	496件	441件	
	FOODEX JAPAN	参加事業者数	18社	18社	18社	募集時期：募集終了 開催期間：3/9～12 募集者数：18事業者
		商談件数	291件	261件	302件	
	わかやま産品商談会in大阪 (R6：FOOD STYLE Kansai共催) R8：FOOD STYLE JAPAN《関西》共催予定	参加事業者数	81社	53社	70社	募集時期：募集終了 開催期間：1/27～28 募集者数：50事業者(予定)
		商談件数	405件	418件	320件	
	県産品マッチング商談会	参加事業者数	58社	40社	36社	募集時期：募集終了 開催期間：10/21～22 募集者数：30事業者程度
		商談件数	205件	115件	93件	
	大手食品卸主催商談会	参加事業者数	18社	18社	13社	【7月開催】募集終了 ・加藤産業展示商談会 ・三井物産流通グループ・フードショー 【1月開催】募集時期11月頃 ・国分中部展示商談会
		商談件数	231件	133件	160件	
商談	リアル商談	商談件数	336件	501件	823件	適宜実施
	WEB商談	商談件数	170件	230件	212件	
通信販売	郵便局カタログなど	参加事業者数	43社	54社	46社	
		掲載商品数	49商品	60商品	59商品	
商品力 販売力 向上支援	アドバイザー派遣	派遣件数	17回	12回	18回	適宜実施
	各種セミナー開催	開催回数	12回	10回	21回	適宜実施
		参加人数	161人	162人	293人	
	Web用販促ツール等支援	補助事業者数	15社			
	おいしく食べて和歌山モール (BtoC)	登録事業者数	183社	211社	224社	随時募集
		登録商品数	792商品	830商品	843商品	
		モール閲覧数	372,915PV	548,119PV	453,951PV	
	おいしく食べて和歌山モール (BtoB)	登録事業者数	198社	218社	225社	随時募集
		登録商品数	876商品	1,041商品	1,085商品	
		登録バイヤー数	489人	583人	641人	
有名シェフ、バイヤー等招聘	招聘件数	47件	84件	59件	適宜実施	
物販	わかやま紀州館	購買者数	85,183人	121,387人	159,150人	テスト販売 随時募集
		出品事業者数	225社	269社	263社	
		売上	116,334千円	179,663千円	235,575千円	
情報発信	Instagram、Facebookなど	フォロワー数	11,766人	12,523人	24,824人	適宜実施
	SNS、著名人発信など	発信回数	243件	229件	339件	
※令和7年度分から「わかやま紀州館」情報発信分も追加計上。						
輸出	青果	輸出額	554,325千円	509,101千円	533,792千円	和歌山県農水産物・加工食品輸出 促進事業で支援
	加工品	輸出額	3,873,540千円	3,679,044千円	4,891,441千円	
	海外向け商品提案	事業者数	147件	153件	154件	随時募集
		商品数	826件	847件	908件	

※各数値は2026年7月末時点で関係事業者の協力に基づき集計したものであり、今後ホームページで更新してまいります。

食品流通課ホームページでは各種事業内容の紹介を行っています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>



ホームページ

様々な情報をメールで配信しています。（登録無料）

1. 県内事業者向け

- 「募集・ご案内メールマガジン」（毎週1回配信）
首都圏や海外展示会、販売催事及び国内外バイヤーとの商談会
に係る事業者募集、各種セミナー開催等のお知らせ



県内事業者向け
メールマガジンの登録

2. バイヤー向け

- 「旬のTasty healthy wakayama」（毎月1回配信）
県内事業者の商品情報や食品流通課の取組情報など
旬の情報を配信



バイヤー向け
メールマガジンの登録

【本庁問合せ先】

和歌山県農林水産部食品流通課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL：073-441-2820

FAX：073-432-4161

e-mail: e0717001@pref.wakayama.lg.jp

【出先機関問合せ先】

海草振興局農業水産振興課	〒640-8585 和歌山市小松原通1-1	TEL：073-441-3382
那賀振興局農業水産振興課	〒649-6223 岩出市高塚209	TEL：0736-61-0025
伊都振興局農業水産振興課	〒648-8541 橋本市市脇4-5-8	TEL：0736-33-4930
有田振興局農業水産振興課	〒643-0004 湯浅町湯浅2355-1	TEL：0737-64-1273
日高振興局農業水産振興課	〒644-0011 御坊市湯川町財部651	TEL：0738-24-2926
西牟婁振興局農業水産振興課	〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘23-1	TEL：0739-22-1443
東牟婁振興局農業水産振興課	〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2-4-8	TEL：0735-29-2011

※このアクションプログラムに記載している内容の一部には、様々な方面との協議を要し、適宜変更を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。